

平成
30年度

反射材用品着用促進運動実施要綱

目的

夜間における歩行者の交通事故防止に効果の高い反射材用品の普及啓発を推進することにより、反射材用品の着用が県民全体に広がり、夜間の歩行者事故防止を徹底するとともに、県民の交通ルールや交通マナーを遵守する交通安全意識の高揚を図ることを目的とする。

期間

年間随時

運動重点

- 1 歩行者・自転車利用者の反射材用品の積極的な着用の推進
- 2 反射材用品の着用効果と着用促進のための広報活動の推進
- 3 反射材用品の継続的な着用促進のための普及啓発の推進

運動の進め方

運動を効果的に推進するため、「青森県反射材大作戦」の推進に取り組むとともに、関係機関・団体及び市町村交通安全対策協議会等は、地域の関係機関・団体等との連携を密にして、各種対策を積極的に実施するものとする。

探してみました！
キラッと光る反射材付きのグッズ！

反射材が交通事故防止に役立つことは分かっていても、「気に入ったデザインの反射材がない」「靴に貼ったシールが剥がれる」「着けるのを忘れてしまう」等の理由で、身に付けていない場合もあるようです。でも、それではあまりにも無防備!! そこで、「反射材が付いている製品を身に付ける」という方法をご提案します。

みなさんも
お気に入りの反射材付き
グッズを探してみよう

帽子
かさ
手袋
かばん
スニーカー

これからは夜道でも
楽に歩いて
もらえて安心ですね!

←
あおもり反射材
啓発情報誌
「KIRARI vol.5」
より

主な推進事項

1 歩行者・自転車利用者の反射材用品の着用推進

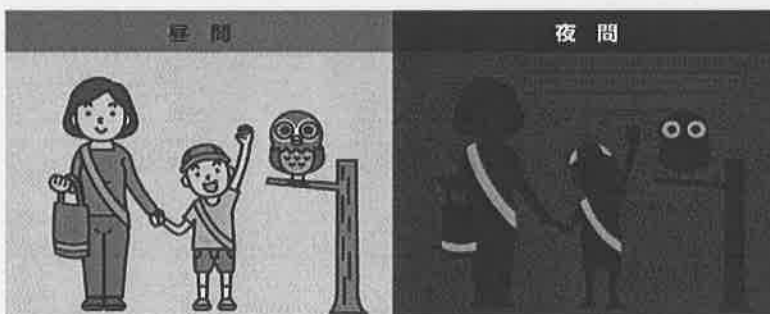
- (1) 全ての歩行者及び自転車利用者、特に子供と高齢者は、夕暮れ時や夜間に外出する際、運転者から発見されやすい反射材付きのウェアや靴、明るい目立つ色の衣服等の着用を心掛けるとともに、キーホルダーやシールなど、身の回り品に積極的に反射材をつけるよう努める。
- (2) 関係機関・団体の職員等は、率先して反射材用品の着用を努めるとともに、家族ぐるみでの積極的な活用を心掛ける。

2 反射材用品の着用効果等の積極的な広報・周知

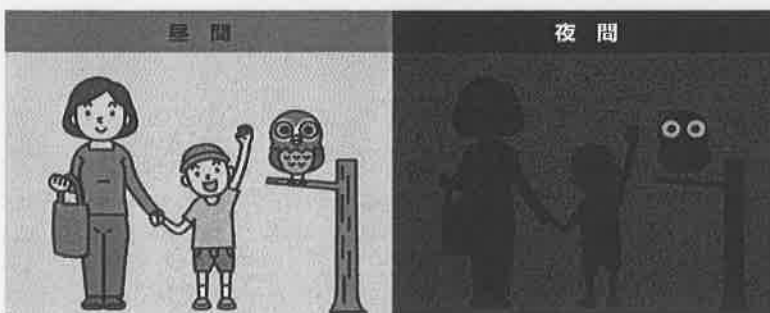
- (1) 「青森県反射材大作戦」ロゴマークを活用するなど、各市町村、交通安全関係機関・団体の広報誌等をはじめ、各種広報媒体を活用して積極的な広報啓発を推進する。
- (2) 反射材の視認効果、使用方法等について理解を深めるため、反射材効果体感型のキャンペーンや、各種イベントを通じた啓発活動に努める。
- (3) 関係機関・団体は、各種交通安全運動等の街頭啓発活動においても積極的に反射材用品の着用効果を周知させるように努める。

3 反射材用品の継続的な着用のための普及啓発

- (1) 関係機関・団体及び市町村等は、世帯訪問による個別指導、高齢者等と接する機会を利用して、反射材用品の着用が継続的に行われるような交通安全指導に努める。
- (2) 関係機関・団体及び一般企業や団体など多様な主体の取組により、反射材用品の普及促進を推進する。
- (3) 全年齢を対象とし、衣服や靴、鞆等の身の回り品への反射材の取り込みを推奨するとともに、適切な反射性能を有する反射材製品についての情報提供に努める。



反射材用品等を着用した場合



反射材用品等を着用しない場合

こんなに見える！

夜間、車から歩行者が見える距離は、着ている衣服の色によって異なり、車のヘッドライトを下向きにしたときには、一般に黒っぽい服で約26m、白などの明るい服で約38mとされています。

これに対して、反射材を身につけていた場合は、約57m以上の視認性が確保されています。

反射材非着用の場合と比べ、格段に安全性が向上します。

